岩手県・田野畑村

三陸復興国立公園
大震災の伝承と大自然

岩手県沿岸北部に位置する田野畑村は、人口約3100人の農山漁村です。三陸復興国立公園に指定されている海岸線には、高さ200㍍前後の断崖が約8㌔にわたり連なる北山崎や、弓状にえぐられた200㍍前後の断崖が5列に連なる鵜の巣断崖などの景勝地を有しています。北山崎は、平成11年に公益財団法人日本交通公社が行った全国観光資源評価・海岸の部で、世界に誇示できる観光資源であるとして、最高ランクの特A級に格付けされています。

田野畑村の豊かな自然の中に築かれてきた歴史や文化、漁業、農業、酪農、林業、観光と多彩な産業と人々の営み、そして大津波の体験と復興へ進む姿は、たくましさや生きる力を育むための良き教材です。体験プログラムの指導者は訪れる子どもたちとの交流を大切にし、素顔と本音で真剣に向き合います。

新型コロナウイルス感染症対策として体調確認、手指消毒、マスクの着用をしていただき、各種体験実施人数を制限しながら実施します。

■組織と教育訓練＝体験村・たのはたネットワークがコーディネート組織として手配のワンストップ化を図り、田野畑村役場が後方支援をする官民一体の体制を整え、学校や旅行会社の目的や要望に対し迅速、柔軟に対応しています。プログラムの指導者や民泊家庭は、定期的な研修を行い、共有し助け合ってきた営みを体験し、ふれあいを通じて心が成長します。

■宿泊ホテル＝336人の収容能力を持つホテル羅賀荘は、宿を出るとすぐに体験現場というロケーション。ホテルに隣接の屋内交流センターではセレモニーや体験プログラム、ワークショップなど多目的な活用が可能で滞在中に効率的なプログラムを組めます。

■机浜番屋群＝平成18年に「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に選ばれた机浜番屋群。東日本大震災で流失しましたが、多くの方の支援で以前の面影を復元する形で再建されました。現在は漁師の拠点施設であるとともに、塩づくりや番屋料理などの体験ができる観光拠点にもなっています。

【お奨めプログラム】

◆サッパ船アドベンチャーズ＝三陸地域の観光振興をけん引するサッパ船アドベンチャーズ。漁船に使う小型漁船（サッパ船）に乗り、断崖直下や岩礁の間を縫うように航行する漁師の勇姿に気迫を感じます。洋上や漁港での体験は漁業の厳しさや漁船プログラムについては海上保安庁などとの連携訓練を実施し安全確保に努めています。

◆塩づくり体験＝かつて三陸沿岸一帯で行われていた塩づくりを昔ながらの製法で体験できます。大量の海水から生み出される塩の量はほんのわずか。歴史を学ぶことで、いかに塩が貴重であったかを実感できます。

◆大津波語り部＝平成23年3月11日に村を襲った大津波は、住家や施設のみならず、多くの尊い命を奪い去りました。被災地だからこそ伝えなければならない、あの日この場所で起こったこと。そして10年の歳月の中で懸命に復旧・復興を続けてきたこと。当時を知るガイドから防災への備え、生きる力を学びます。

◆漁師の知恵を伝えます。漁師の歴史文化財百選に選ばれた机浜番屋群。

人気のサッパ船アドベンチャーズ

体験の拠点「机浜番屋群」

潮騒の宿「ホテル羅賀荘」

「大津波語り部」から生きる力を学ぶ

NPO法人 体験村・たのはたネットワーク
担当　楠田・赤坂
※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い民泊の受け入れを停止しています（4月4日時点）。
〒028-8402 岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10
北山崎ビジターセンター内
TEL 0194-37-1211　FAX 0194-33-3355
E-mail:taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp
URL:https://www.tanohata-taiken.jp/

長野県・南信州

天竜川ラフティングでチームワークができる

SDGs教育プログラム
高校受け入れ開始

なぜ今、南信州か？

○「主体的・対話的で深い学び」、SDGs理解学習、ESD（持続可能な開発）学習のためのファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。

○平成8年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、26年間の安定した実績を持っています。

○全国で初めて農泊（受け入れ先は延べ450軒、簡易宿所）を教育旅行に導入（1998年）。第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。

○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。施設ガイドライン順守。

○「主体的・対話的で深い学び」、SDGs理解学習、ESD（持続可能な開発）学習のためのファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。

○平成8年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、26年間の安定した実績を持っています。

○全国で初めて農泊（受け入れ先は延べ450軒、簡易宿所）を教育旅行に導入（1998年）。第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。

○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。施設ガイドライン順守。

withコロナ・ポスト3、南信州農泊ガイドライン Ver3（農家向け）

withコロナ時代の教育旅行受け入れ先としての準備

○従業員の感染防止対策、感染防止のためのオペレーションの見直し、頻繁な換気、接触箇所の消毒

○修学旅行生の感染防止ガイドライン順守。マスク着用、接触防止策・ソーシャルディスタンシング、手洗い・手指消毒の徹底

○感染防止のための設備・備品・新技術の活用

○感染者発生時の対応策の徹底と関係機関との連携

▽万が一に備えて検査キット（抗原定性検査）の準備

SDGsと新学習指導要領～高校教育に求められるもの～

OECD PISA（2018年）の調査目的とリンクしています。既に始まった大学入試制度の改革も以下の点を意識しています。

世の中は「正解のない問い」に答えを出せる「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切り拓く青少年には、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成される主要な能力は、OECD PISAの調査目的とリンクしています。

「私たちのネギ畑。農業って面白い」

リンゴ畑から循環型農業の効果を知る

ネギの収穫、ほ場から考える農業のSDGs

学習到達度調査79カ国、15歳対象）が評価する主要な能力では、日本は数学的リテラシー6位（5位）、科学的リテラシー5位（2位）、読解力15位（8位）と全て後退しています。

新学習指導要領の求める主要な能力は、OECD PISAの調査目的が大切です。

▽入域時の修学旅行生、学校関係者などの無感染・健康確認

▽南信州地域全体での感染防止策の実践

▽宿泊・食事施設、体験プログラムインストラクターなどの感染防止ガイドラインの順守。宿泊連携

そして、時代の潮流はSDGs。「主体的・対話的で深い学び」と持続可能な地球、日本、地域を創るためのフィールドワークをふんだんに用意しています。ご来訪をお待ちします。

◆南信州観光公社＝長野県の認定するSDGs推進企業第147号

株式会社 南信州観光公社
〒395-0152　長野県飯田市育良町1-2-1
りんごの里内
TEL 0265-28-1747　FAX 0265-28-1748
URL https://www.mstb.jp/

新しい教育旅行の時代を

福井県・若狭美浜

チームワークを育むボート体験

若狭美浜はあとふる体験
「生きぬく強い心を」

近年は、学校の教育現場で探求型の教育「探求学習」として、日常生活や社会に目を向け、自らが課題を設定し、情報取集や分析、解決に向けた取り組みが求められています。1次産業やそれに携わる人たちがどんな暮らしをしているか分からない子供たちが多い現状の中で、はあとふる体験では、これからの日本を考えていくために、自分たちが生きるための食糧の生産現場である農業や漁業を通して、食や命の大切さ、1次産業を目で見て触れて肌で感じることで理解を深め、地域のありのままの良さや地域住民の人柄を多くの方に知ってもらいたいと思っています。課題や問題点を修学旅行を通じて発見し地域創生につなげる取り組みを行っています。

はあとふる体験では、ウトドア体験6種、味覚体験6種、自然豊かな地域の資源を工芸歴史文化体験19種があります。地域のインストラクターと共に汗を流し、本物の現場を体験することによって、生きる力と自分の考えを持ち、自発的に行動できる人間へとつなげていける体験プログラムの一部を紹介します。

◆ボート体験（信頼関係と、物事を継承して活動できる心づくり）

はあとふる体験特有のプログラムがこのボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育む体験を通じ、人の温かさ、自分を応援してくれる気持ちを肌で感じる機会を大切にしています。自分の存在価値を再確認し、自分も高まりたいという意思、意欲を伸ばしていけるようプログラム。こぎ手4人とコックス（かじ取り）1人が艇に乗り込み、湖をこぎ進みます。「一艇ありて一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても早く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。

特産品「へしこ」をつくる料理体験

船釣り体験もできる

◆民泊体験（心の温かさと人としての礼儀の心づくり）

人間関係の気薄さが問題となっている中、民泊体験を通じ、人の温かさ、自分を応援してくれる気持ちを肌で感じる機会を大切にしています。自分の存在価値を再確認し、自分も高まりたいという意思、意欲を伸ばしていけるようプログラム。こぎ手4人とコックス（かじ取り）1人が艇に乗り込み、湖をこぎ進みます。「一艇ありて一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても早く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。

民泊の受け入れ家庭とのお別れ（退村式）

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL https://tabikobo-jpn.com/

埼玉県・秩父地域

自然を感じ、チームワークを育むラフティング

都心から90分、民泊家庭は150軒
東京に「ちかいなか」秩父

埼玉県の秩父地域は、東京都心から約80㌔圏内（バス・電車で2時間以内）でありながら、ユネスコに登録された「秩父祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中では、「和同開珎」「秩父事件」などが有名で、地学の面では〝日本地質学発祥の地〟として「日本ジオパーク」にも選ばれています。最近では人気アニメ映画「心が叫びたがっているんだ。」「空の青さを知る人よ」の舞台になったアニメの聖地でもあり、現在全国で一番歌われている卒業ソング「旅立ちの日に」の発祥の地でもあります。

また、風光明媚で豊かな自然が残り、四季を通じた観光要素も多くある地域で、老若男女問わず、活躍が高まっている観光人気が高まっている観光地でもあります。

■教育民泊120軒

民泊では、約120軒首都圏の貴重な水資源となっている荒川を活用した川下りやラフティング、自然の中でのアドベンチャーや渓流釣り、田植え体験、日本百観音霊場である秩父札所34ヶ寺で行われる座禅、竹細工、さらには、貴重な地質を生かしたジオパークや新電力を学べるSDGs体験など学校のニーズに合わせた自然、文化を体感できる豊富な体験プログラムも多数ご用意しています。

■コーディネート組織

「一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会と連携した新コロナウイルス対策や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせし、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。

東京への修学旅行に〝ちかいなか秩父〟の民泊を取り入れ、人情あふれる田舎の生活体験をしてみませんか。

バスでは修学旅行で人気の高い国会議事堂から約90分、東京ディズニーランドから約110分。首都高・関越道経由で花園IC下車、国道140号を利用。鉄道ではJR山手線池袋駅から西武鉄道・特急ラビュー号で西武秩父駅まで約80分。都心から一番近くて、一度に約300人まで受け入れ可能なのが秩父地域の民泊です。

全員で料理して「いただきます」

みんなで田植え体験

受け入れ家庭での農作業体験

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町9-5
秩父ビジネスプラザ
TEL 0494-26-6260　FAX 0494-26-7331
E-mail:info@chichibu-omotenashi.com
URL https://www.chichibu-omotenashi.com/